項目等	確認事項	基本設計時のセルフモニタリング結果			実施設計時のセルフモニタリング結果			施工時のセルフモニタリング結果			維持管理時のセルフモニタリング結果（四半期ごとに1回以上）		
		対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	対応	参照先	評価	対応	参照先	評価
第2 設計業務													
2 設計業務対象施設に係る要件													
(2) 諸室ごとの要件													
共用													
エレベーターホール													
便所													
	手洗い及び便器の器具数については、空気調和・衛生工学会：SHASE-S206-2019給排水衛生設備規程・同解説、技術要項・同解説「衛生器具の設置個数の決定」に基づき、水道庁舎はサービスレベル1以上を確保するように計画すること。	女子トイレは提案（入札）時の器具数不足を確認し、下記のとおり確保。男子トイレは市の指示により3基としたため要求水準の未達ではない。 ・男性トイレ 3箇所 ・女性トイレ 4箇所	平面図（●ページ）、給排水衛生設備設計図（●ページ）		・器具数は基本設計通り確保 ・高齢者、障害者、幼児にも使いやすい器具の採用を確認	平面詳細図（図面No：A-○○）、建具表（図面No：A-○○）	実施設計図通り施工済みであることを監理者にて確認済み	○○施工図					
				●		○			○				
第5 統括管理業務													
2 統括マネジメント業務													
(2) 定例会の開催・運営													
	ア 本市と事業者は、月に1回以上、定例会議を行い、本事業の実施状況や個別業務の状況に係る報告及び意見交換を行うこと。	第1回設計定例会議を開催した。		●	第5回設計定例会議を開催した。		●	第10回施工定例会議を開催した。		●	第15回維持管理定例会議を開催した。		●
第6 維持管理業務													
2 建築物保守管理業務													
(1) 定期保守点検業務													
	(b) 点検により建築設備が正常に機能しないことが明らかになった場合、又は本施設の運用に支障を及ぼすと考えられる場合には、適切な方法（保守、修繕、更新等）により対応すること。			-			-			-	定期保守点検を行い、その結果は月次報告書の○○に記載。○月○日は○○の汚れを確認し、修繕対応	業務報告書	○

* 1 記載例の為、限られた項目のみを抽出している。実際は要求水準書の全ての内容をチェックリスト化すること。
 * 2 要求水準書本編だけでなく、添付資料（例：「資料7 必要諸室リスト及び電気・機械要求性能表」の必要諸室や設備内容等）の内容も可能な限りチェックリスト化すること。
 * 3 「項目等」及び「確認事項等」並びに各業務段階の「対応」、「参照先」及び「評価」の列は必須とするが、より良いセルフモニタリングの為に列を追加する提案を妨げない。
 * 4 設計、建設・工事監理、移転支援、統括管理、維持管理の全ての業務段階に渡る項目（事業全体に係る項目）は、全ての業務段階でのチェックが必要である。